

小さな平和への一歩

読谷中学校 二年一組 金城 帆稀

私は戦争の二とをあんまり知りません。
 私加わることには、沖縄戦でたくさんの方が
 亡くなつたこと、広島・長崎に原爆が落ち
 たこと、日本だけでなく世界でも戦争がおさ
 たこと、今現在も戦争している国や地域があ
 るといふことなどです。そんなことがあか
 たのは、平和を考ふる集会などがあつたから
 です。でも私は、

読谷中学校

「なんで平和を考ふる集会などをするのだろ
 う。」
 と思つたことがありました。でも今は、私達
 世代のよりに、戦争をこの目で見たことがな
 い世代にとつては、そんな集会はとても大切
 だと思ひます。なぜかと言ふと、戦争は争ひ
 事のなかでも一番やつてはいけないことだし、
 二度とおきてはならないことです。戦争でど
 のよきな事がおきて、どんな被害があつたの
 かなどを、私達の次の次の、もつと次の世代

まで伝えていかなくてはならないと思うから
です。

私は、どうやられば世界が平和になるのか、
平和とは何かを詳しくはわかりません。でも、
私が思う平和――それは、一人一人が共に
つながって生きている、協力する、助け合う
仲間に感謝しながら生きていけば、
世界は平和になると思います。でも、それだけ
では平和と言えるのでしょいか。私はちよ
と違うと思います。平和とは、生きているこ

読谷中学校

と……それが一人一人の平和だと私は思
います。一人一人の平和が集まれば、世界の
平和につながると思います。

戦争は、一人一人がもっていたはずの、平
和の気持ちをもぶち壊してしまっただ、悪質なも
のです。全然罪のない人々まで殺され、子供
達も兵隊として、戦争で戦わせたり大人達は最
低だし、子供達の気持ちなどはとても苦しかっ
と思います。

私かそう思う理由は、自分も同じ子供だか

らわかるというところが一番の理由です。もう一つは、あるとき私は、子どもも兵士といふ本を読みました。その本は、私と同じくらいの子供の少年少女が、兵士になつて戦うという内容が、たくさん書かれていました。その本には、ある少女のこんな言葉がのつていました。「目をつぶして、銃を撃つたわ。でもあたらなかつた。だから、もう一回、撃つたのよ。」その言葉を読んだ私は、

読谷中学校

「目をつぶして、のびてんで、銃を撃つ、つまり人を撃つのが、怖い。て、二つが行動に現れていて、そんだけ、恐いのには、やらされるのは、そうとうつらいだろう。」。と思つて涙が出そうでした。だから子供は大人の格つらい思いをしただろうと感じたのが、もう一つの理由です。そんな苦しい、悲しい思いを二度としないためには、いじめなどからなくして、いくこと、大切だと思ひます。今世の中には、たくさん

んのいじめがまだあります。もしかしたら
私のまわりでもおきているかも知れません。
いじめなど仲間はずれにされている人がい
たら助けてあげたいなと私は思います。しか
し、それが本当にならば、たら、助けてあげられ
るのか不安です。でも、勇気を持って頑張
てみようと思います。小さな小さなけんかや
いじめからなくしていけば、ちよつと大喧さ
かもしれないけれど、戦争にならなくてす
むと思ふからです。小さなけんかをなくして

読谷中学校

いくことも、平和につながる第一歩だと思ひ
ます。

私は戦争の本当の恐ろしさはわかりません。
ですがこれからは二度と戦争をおこさないた
めにも、友達が困つていたら助けてあげよう、
戦争のことがわからぬ人達にはちよつとで
も自分がわかることを教えてあげて、戦争を
おこさない努力をしてみようと思ひました。
私が一番伝えたいことは、戦争はとてもし
はくても、恐ろしいことだといふことです。